

今月の「輝き！」さん
No. 63



池田建設工業株式会社 池田琢医さん

業 種：総務
年 齢：26歳

今月は池田建設工業株式会社の池田琢医さんを訪ねて志賀町の本社に行ってきました。

一会社について教えてください。
弊社池田建設工業株式会社は昭和42年に現会長の祖父が創業し、今年で創業53年となりました。昭和46年からは会社組織として池田ブルドーザ工業株式会社としたことから弊社は大型重機土木工事の施工を主体とする建設会社で、石川県を拠点として東北、関東、関西と県外にも営業範囲を広げ高い評価を受けています。工事対象は、道路・敷地造成・太陽光発電造成・処分場・河川土工・ゴルフ場造成・トンネル・ダム等、あらゆる施設の上工事を行っています。現在、従業員数は92名で現場監督、オペレーターなどの技術者の多くは県外の現場で仕事をしています。

一あなたの経歴、担当業務について教えてください。
私は26歳で、羽咋工業高校、金沢工業大学に進学後、グループ会社の池田商事に入社し5年間勤務後、今の池田建設工業に入社しました。
業務内容としては総務部で労務を1年間担当し実務経験を積んできました。年に数回行う出前講座の手配や働き方改革の一環として、従業員の有給休暇の取得率のアップに取り組んでいます。具体的には社員の歯科健診や健康運動について講習会の開催や毎月休暇の取得リストを確認して前年度との比較で取得の進捗を確認しています。

弊社の特徴として、北信越エリア、東日本エリア、西日本エリアと各地に現場があることから、会議打ち

合わせはテレビ会議が多く各現場からの進捗状況や労務管理はすべてオンラインで把握することができず。そういう点で職場のITの普及は早い時期から進んでいます。

一仕事で苦労したこと、やりがいを感じたことはありますか。
苦労したことは、入社当初、現場が全国にある為、電話やメールだけでは現場監督との意思疎通がうまくいかず意図が伝わらない事があり苦労しました。その後、仕事内容を懸命に勉強して詳しく的確に説明できるようになり今ではスムーズにやり取りができるようになりました。施工後の完成写真やドローンでの映像を見たときに、自分の仕事が現場の人たちの仕事につながっていると感じ、やりがいを得ることができました。

一これから先、若者や女性に人気のある建設業界にするためには、職場環境の改善や休暇の取り方などどのようにしていけば良いと思いますか。
職場環境の改善では現場に女性用のトイレを設置することや、会社でハラスメント防止等の講習を行い監督やオペに周知理解をしてもらうことが改善につながると思います。休暇の取り方では休暇を取っても良いという雰囲気を作ることや、取得が進んでいない人に対して、上司が業務負担の軽減を図れば社員健康と生活に役立つだけでなく、心身の疲労の回復、生産性の向上につながるの積極的に行うことが良いと思います。

一将来の目標、夢、抱負などお聞かせください。
目標は労務担当として社員に信頼されるようにしっかりとミスが無いようにこなしていき、現在のよう法律が目まぐるしく変わっても臨機応変に対応できるように常に考えながら仕事をしていけるようになる事です。総務全般の業務も今後は任せられるように頑張りたいと思います。

一余暇の過ごし方、趣味は何ですか。(学生時代のクラブ活動、現在やっていることは)
羽咋工業の時はヨット部に入っており近くの滝港沖で練習をしていました。
今はバイクで県外へツーリングに出かけたり、ジムで体を鍛えたりしています。
地元活動では青年団と消防自警団に入っており、お祭りや今では珍しい青年団主催の報恩講(若い衆報恩講)などの地元行事に積極的に参加しています。



けんせつ一番星☆

「Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。
是非お聞きください。